

# はまぼうふう vol.5 2001. 10. 29.

## 石狩浜海浜植物保護センター通信

日本海からの冷たい風が吹き抜ける季節になりました。アキグミの実が真っ赤に染まり、冬の足音を告げています。河口には南へ渡る途中のシギ、チドリが立ち寄っていますが、やがて彼らも去り、ここで冬を過ごすカモやカモメたちが訪れます。



アキグミの実→

### 石狩浜冬鳥情報

カモ類が冬の波間でエサをとり、厳冬期にはオオワシなどの猛禽類が河口の氷の上に姿を見せません。ここでは、冬に石狩浜沖や樽川埠頭など港周辺でよく観察される鳥を紹介します。

#### カモ類（水にもぐって貝やもなどのエサをとる）

クロガモ	ホオジロガモ	シノリガモ	スズガモ
 ♂: 51cm ♀: 43cm 羽は黒く、嘴(くちばし)はオリーブ色。翼は茶、ほおが白。	 ♂: 47cm ♀: 40cm 羽の頭は緑色に光る黒色。ほおに白いもようあり。翼は茶。	 ♂・♀: 42cm 羽の体色はハデでV字のよう。翼は茶、顔に3つの白いもようあり。	 ♂・♀: 46cm 羽の頭は緑色に光る黒色。翼は茶、くちばしのつけねが白。
アイサ類 (同右)	カイツブリ類 (水にもぐって魚などをとる)	カモ類 (同上)	
ウミアイサ	ハジロカイツブリ	ミミカイツブリ	ヒロードキンクロ
 ♂: 52cm ♀: 52cm 頭にかんむりのようなけをもつ。羽の頭は緑黒色、翼は茶。	 ハジロ(上図) ♂・♀: 33cm ミミ: ♂・♀: 35cm	ハジロによく似るが、頭の形はハジロがたてにまるいのに対してミミは横にまるい。羽・翼ともに目の後方にはっきりした白いたて長のもようがあるのもハジロとのちがい。	 ♂・♀: 55cm 全体が黒くオスは目の下に三日月形の白いもようあり。嘴は赤い

くちばしから  
尾の先までの  
長さ

#### カモメ類（魚や動物の死がいや、カモ類のエサをぬすんで食べる）

オオセグロカモメ	シロカモメ	カモメ	ウミネコ
 ♂・♀: 61cm 大型のガメ。翼の先は黒色で先端に白い斑あり。足は桃色(ソコガメも)。	 ♂・♀: 72cm 大型のガメの中でも最大。背・翼(つばさ)はうすい青灰色、翼の先は白。	 ♂・♀: 45cm まれに見られる。足は黄色(ソコガメも)。翼の先は黒く白い斑(はん)あり。	 ♂・♀: 46cm ミヤコ・ミヤコと鳴く。厳冬期は見られない。飛ぶと、尾に黒い帯が見える

※ 日本野鳥の会小樽支部 渡邊智子さんより情報提供いただきました。

イラストは、数内正幸著、野鳥の図鑑(福音館書店)より引用しました。

2001.10.29.

### 波打ちぎわの風景1

石狩川の河口で、時にこんな（右  
図）植物を目にします。???山の中  
で見たことがあるような……。さ  
てこの植物、オニグルミの芽生え  
です。オニグルミといえば、市内  
でも防風林で見られる木。それが  
どうして河口の砂浜に？

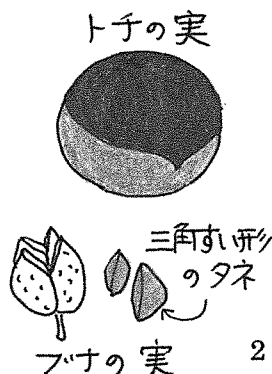
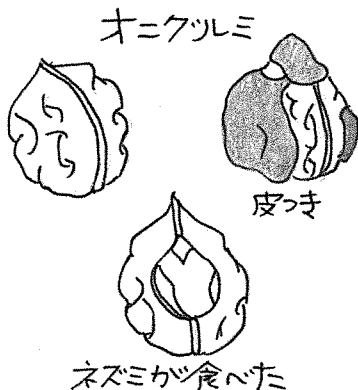


羽状の葉の植物がオニグルミ

秋の石狩浜こども自然教室で波打  
ちぎわの宝さがしをしてみると、  
続々と集まってくるのがクルミの  
実です。集めたクルミの実を海へ投  
げてみると、波の間に浮いている様  
子を見ることができます。そう、クルミは水に浮くつくりをしているのです。  
クルミは、山の中でもどちらかという川辺や湿った場所の周りを好んで生え  
ます。リスなどが冬の食料として運び、蓄えたもののうち忘れられたものから芽  
が出ると言われますが、親木から遠くへ運ばれるために、川などの水の力も利  
用しているとの説もあります。

石狩浜には、石狩川上流のさまざまな森から生まれたクルミが、川を旅した末、  
集まってくるのでしょうか。まだ皮のついたものや、ネズミにかじられ穴のあ  
いたものなど姿もさまざまです。しかし、このクルミのふるさとを、石狩川上流  
だけと考えるわけにはいきません。石狩浜には、石狩川の上流には見られない  
トチやブナの実もたどりついているのです。ブナの分布の北の端は黒松内町の  
あたりです。クルミの中にも、ブナなどと同じように、南の地方の森から来て  
いるものもあるのではないのでしょうか。石狩浜のクルミのふるすとは、まだ  
想像の域を出ないのです。

河口のクルミの幼木は、ふるさとを離れ、さまざまな場所へと旅立っていく  
クルミたちの知恵とたくましさを想像させてくれます。しかし、海まで出てし  
まったクルミは、芽を出しても大きくなることはまずできません。長くても数  
年の命でしょう。もともと、穏やかで湿った環境の森林に育つ種です。浜辺で、  
海からの強風、栄養のとばしい砂、塩風に耐えることはむずかしいでしょう。  
自然界の厳しい掟です。



この浜に流れ着くたくさんのクルミ  
の実、地元の方の方は、昔から遊び  
や生活の中で利用してきたと話して  
いました。石狩浜を訪れた時には、波  
打ちぎわを歩き、このクルミのふるさ  
との森に思いをはせてみるのもよい  
のではないのでしょうか。

波打ちぎわの風景2

～ゴミにも目を向けよう、石狩小学校の調査～

石狩浜の波打ちぎわを歩くと、まずたくさん目にするのは流れてきた木片、そして感想は、なんてゴミが多いんだ、ということでしょう。

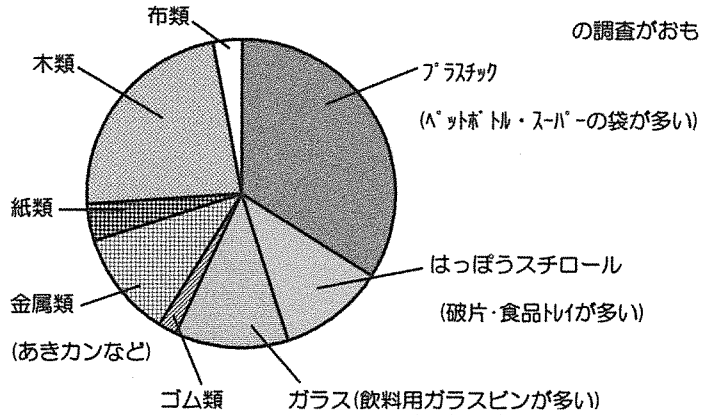
各地の海岸でのごみ調査の結果が、建設省（今の国土交通省）によりパンフレットにまとめられています。この中で、人工系のゴミ（人が生活したり物をつくったりする中で出たゴミ）の内容は、全国平均で右図のとおりでした。

さて、石狩浜はどうでしょうか。

今年の6月、地元石狩小学校は、石狩浜でゴミの調査を行いました。海水浴シーズンにはまだ早いこの時期ですが、石狩浜のゴミは、どのようなものが多いのでしょうか。下の図は、石狩小学校6年生が海岸のゴミ拾い調査の結果をまとめ、石狩浜を訪れた人たちに配ったしおりです。

海岸の人工系ゴミの構成（全国平均）

（2.4トン/キロメートル） ※海水浴シーズン前(6・7月)



- 1位 花火 162個
- 2位 ビニール袋 128個
- 3位 カン 99個
- 4位 ペットボトル 42個
- 5位 コップ 11個
- 6位 焼肉用金網 3個

※調査は、4グループ（各5～6人）で約1時間実施

石狩の浜を美しく  
ゴミは持ち帰ってください！

※しおりとしてお使いください。子供たちのアイデアです。 【ハマナスの花】

私たちの町や石狩浜をいつまでもきれいにしていきたいです。私たちは、石狩小学校の児童です。総合的な学習の時間で、石狩浜の清掃をしたり、海のことについて調べたりしています。私たちは、石狩浜のゴミを拾って調べてみました。

ごみの種類ベスト5（今年6月調べ）

1位	花火	162
2位	ビニール袋	128
3位	カン	99
4位	ペットボトル	42
5位	コップ	11
番外	焼肉用金網	3

◎2人で約1時間かけて拾った量です。

漁協や植物保護センターの方の話

- 今は、昔と比べてとれる魚の種類と量が減っています。
- 砂浜が流って地形が変わってきています。
- ゴミや不法投棄が多いです。
- 車の乗り回しなどで海岸植物が荒らされています。

ほくから、私からのお願い

これは、個数で表しているなので、単純に右上の図と比べることはできません。しかしこの結果から見てとれるのは、右上の図と同じように、プラスチック類（ビニール袋・ペットボトル）やカンが多かったということと、花火やバーベキューなど海辺で遊んだ後のゴミが多かったということです。飲み物の容器やビニール袋の多さは、今の私たちの生活スタイルそのものを映しているように思えます。そして、海辺のゴミは、海にも同じようにゴミが漂っていることを私たちに教えてくれているのです。

石狩浜での子どもたちのこのような活動が、海辺の利用者の意識を少しでも動かすことを願うとともに、海岸をきれいに使う、ゴミを持ち帰るという意識が、地元の子どものうちの中に育っていることを心強く思います。

2001.10.29.

8月～10月の活動から

**自然観察会**

8月26日 10時から12時

コース：海岸草原 参加者：16名

暑さの残るはまなすの丘を歩きました。湿地では青紫色のサワギキョウの花に出会えました。

9月16日 9時30分から12時

コース：はまなすの丘 参加者：20名

コガネギクの黄色とハマナスの実の朱色がきれいに映える海岸草原を、海岸林から波打ちぎわまで歩きました。海岸林のカシワにはドングリがたわわになり、海に近い草原では、ウンランやハマニガナの花が見られました。参加の男の子が、たくさんのハマヒルガオのタネを集めてくれました。

**こども自然教室**

9月30日 10時から12時

場所：海浜植物保護センターの周り 参加者：21名

保護センターの周りの海岸草原で、ネイチャーゲーム「浜辺の宝物探し」をし、カシワの林や砂浜でも、たくさんの宝物を集めました。集めた宝物は保護センターへ持ち帰り、オリジナルの標本箱や絵をつくりました。



**浜の草木でリースをつくろう**

10月14日 10時から12時

場所：海浜植物保護センター周り 参加：19名  
海岸草原でヤマブドウなどのツルを集めて巻き、リースの輪をつくりました。そして、海岸草原でアキグミやオオマツヨイグサ、コウボウムギの実、砂浜でクルマミなどを集めました。センターでは、集めた材料をリースに飾りつけです。楽しいリー

行事への参加申込・お問合せ・通信に関するご意見等は、下記まで。

なお、11/4～4/28は冬期閉館期間となりますが、情報はホームページにて常時発信しています。

石狩海浜植物保護センター 〒061-3292 石狩市弁天町 48 番 1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146 email:hamanasu@guitar.ocn.ne.jp

冬期閉館期間：tel.0133-72-3240 fax.0133-75-2275 (石狩市役所環境課)

石狩海浜植物保護センターホームページ URL：http://www4.ocn.ne.jp/~ishi-ham/

スがたくさんできました。



**調査活動**

9月5・8日 実施：石狩海浜植物保護グループメンバーのべ18名

海岸草原で、ブルドザーに植物がはぎとられた事故から1年半。はぎとられた後の植物がどのように変化していくかを調査しています。2年であり植物が生えてきました。くわしくは別に報告の予定。

**センター利用**

いしかりKIDS21の活動(9月24日)

海岸草原の植物のタネを集めに行きました。集めたヒロハクサフジのタネやハマボウフウのタネを、見本園にまきました。来年、楽しみだね。



ライオンズクラブ(7/28・8/25・10/6)

はまなすの丘灯台のまわりの美しい海辺の景色を守るため、草取りなどの活動を毎月行っています。10月6日に今年の活動を終え、センターにてスライドを観賞しました。ご苦労さま。

